

令和 8年度予算見積調書

課室名: こども安全課

担当名: 養護担当

内線: 3331

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S283	児童心理治療施設多機能化事業			一般会計	民生費	児童福祉費	児童措置費	児童自立支援総合対策事業費	
事業期間	令和 6年度～	根拠法令	児童福祉法第43条の2、第50条			針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	16
						分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	16-2
1 事業概要 児童心理治療施設「嵐山学園」の多機能化を図り、障害や思春期などケアニーズの高い児童の処遇に苦心している児童養護施設等の支援を行う。 また、思春期の里親子の不調による委託解除を防ぐため、通所や訪問による里親子への支援、各種研修会を実施する。 児童心理治療施設多機能化事業 23,240千円				5 事業説明 (1) 事業目的 思春期の児童や障害児の支援に苦心している児童養護施設等の支援を行うため、児童心理治療施設「嵐山学園」の多機能化を図る。国のモデル事業として実施することにより、全国に事業の成果を発信していく。 (2) 事業内容 ア 児童養護施設高機能化支援事業 (ア) 児童心理治療施設としての専門性を活かし、医師や心理士等による施設への訪問支援を行う。 (イ) 児童養護施設入所中の障害児への支援を行う。 イ 思春期の里子及び里親支援事業 (ア) 思春期の子供を養育している里親は不調による委託解除の懸念を抱えることが多いが、有効な支援策が確立されていない。児童心理治療施設としての専門性を活かし、通所や訪問による里親子への支援、各種研修会の開催など、有効な支援策を確立する。 (3) 事業効果 ア 児童養護施設等に入所中の児童が安定し、職員の負担軽減につながる。 イ 里親委託中の児童が安定し、里親の負担軽減につながる。 ウ 施設職員、里親のスキルが向上する。 【活動指標(アウトプット)】児童養護施設へのアウトリーチ支援360回、里親子への支援(通所・訪問)20回 各研修会の開催2回 【成果指標(アウトカム)】処遇困難による一時保護件数:令和8年度末:15件(令和4年度末:28件)					
2 事業主体及び負担区分 【こども家庭庁】 児童福祉事業対策費等補助金 (国1/2、県1/2)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	23,240	10,000						13,240	3,240
前年額	20,000	10,000						10,000	

事業内訳書

事業名	児童心理治療施設多機能化事業		
単位事業名	児童心理治療施設多機能化事業	予算額	23,240千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 児童福祉費補助金	10,000	0	【こども家庭庁】 児童福祉事業対策費等補助金 補助率 1/2
一般財源	13,240	3,240	
合計	23,240	3,240	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	23,240	3,240	
合計	23,240	3,240	